

# 自立活動だより No. 6

令和元年12月 日  
大宮ろう学園 自立活動部

## 幼稚部

幼稚部では、自分で気づき学べる環境を大切にしています。その中で毎年行っている「たき火」は、子どもたちにとって深い学びとなっています。

肌寒くなってきた頃から、園庭でたき火を行っています。11月に子どもたちが頑張って育てたサツマイモを使って、やきいも会を行いました。たき火の経験を重ねてきている幼稚部2、3年生は火の扱いに慣れていています。自分で考え、五感で感じながら安全に行うことができていました。積み重ねた実体験が日常生活の中に根付き、大きな学びに繋がっていると感じました。1年生は、はじめてのたき火。火に対して少し警戒心を持ちながらも、2、3年生や教員を見て真似をしたり、自ら火と一定の距離を保ったりしながら楽しく活動することができていました。



けむりで目が痛くなるため背を向けながら移動する子、火に木を入れて燃える様子をじっくり観察する子、燃えている様子を遠目から見ている子、それぞれが知的探求心を抱いて活動しています。園庭の真ん中でたき火を行っているため、様々な遊びの角度からたき火を見たり感じたりすることもできます。教室にいても、においでたき火が始まったことに気づき、園庭に出ていく子もいます。

季節を感じられる体験を通して、遊びを広げたり自分で考えたりする力を伸ばせるように、活動を深めていきたいと考えています。

